

評価者	教育部長	佐々木 聡
-----	------	-------

◎ 評価対象分野・施策の方針・目標とすべきまちの姿

総合計画上の位置付け	分野	学校教育	施策の方針	学校施設の整備
目標とすべきまちの姿	平成22(2010)年度をもって既に完了している学校施設(校舎・体育館)の構造体の耐震補強に加えて、非構造部材の落下防止等耐震対策が講じられているため、児童生徒が安全かつ安心に学習できる環境が整備されています。 また、トイレ等衛生設備の整備など、健全な学習環境の構築に資する取組が進められています。一部の学校においては、エコスクールの推進に向けて、太陽光発電設備又はLED等次世代型照明器具が導入されています。			

1 市民意識調査結果

(1) 認知度(回答者全体に占める割合)

取組を知らない・わからないと答えた人の割合	令和元年度(2019年度)	21.0%	平成30年度(2018年度)	18.8%	平成29年度(2017年度)	21.3%
	平成28年度(2016年度)	21.3%	平成27年度(2015年度)	25.3%		

(2) 妥当性

令和元年度(2019年度)

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	1.4%	1.8%	1.0%
ちょうどよい	1.9%	46.4%	1.6%
効果不十分	1.1%	2.1%	16.2%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

平成30年度(2018年度)

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	2.1%	1.8%	0.7%
ちょうどよい	0.8%	48.4%	2.5%
効果不十分	1.2%	1.5%	18.0%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

平成29年度(2017年度)

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	1.6%	2.6%	0.0%
ちょうどよい	2.1%	45.2%	3.0%
効果不十分	0.9%	1.4%	17.2%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

平成28年度(2016年度)

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	2.5%	3.4%	0.5%
ちょうどよい	3.0%	49.4%	1.8%
効果不十分	0.7%	1.1%	11.2%

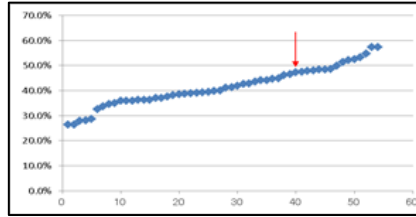
仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

平成27年度(2015年度)

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	1.7%	1.3%	0.0%
	ちょうどよい	4.4%	47.2%	1.0%
	効果不十分	1.9%	1.9%	9.7%

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)



(3) 今後の進め方

	もっと力を入れるべき	現状のままで良い	力を入れなくて良い	無回答
令和元年度(2019年度)	27.4%	42.7%	2.6%	27.4%
平成30年度(2018年度)	32.2%	42.8%	2.0%	23.0%
平成29年度(2017年度)	20.3%	45.9%	2.7%	31.0%
平成28年度(2016年度)	20.1%	51.2%	2.1%	26.6%
平成27年度(2015年度)	28.3%	42.5%	2.8%	26.4%

2 内部評価

(1) 令和元年度(2019年度)の目標

- ①令和元年度(2019年度)の全校普通教室への冷暖房設備設置完了に向け、計画に基づき小学校6校の設置工事を進める。(教育-18)
- ②トイレの改修について、令和2年度(2020年度)までの3か年で残る10校18系統(小学校5校9系統、中学校5校9系統)のトイレを改修を完了するよう事業を推進する。(教育-18、19)
- ③学校施設老朽化状況調査結果を基に、今後の学校施設のあり方の検討を進め、学校施設整備計画を策定する。(教育-18、19)
- ④照明器具はさらにLED化を推進し、トイレ改修工事では節水型衛生器具の採用や照明器具に人感センサーを設置する等、学校施設整備時に合わせながら、エコスクールの取組を推進する。(教育-18、19)
- ⑤御成小学校旧講堂保存活用計画を踏まえた改修工事の実施に向けた検討を行う。(教育-18)

(2) 目標とすべきまちの姿と令和元年度(2019年度)の目標との関連性

- ①、②学校施設整備に関する事業の実施については、教育環境の改善が図られ、健全な学習環境の構築に資する。(教育-18、19)
- ③学校施設整備計画の策定は、児童生徒が安全かつ安心して学習できる環境を整備するための基本となるものである。(教育-18、19)
- ④LED照明器具の設置やトイレの照明器具に人感センサーの設置を進めることにより、エコスクールの推進につながる。(教育-18、19)
- ⑤御成小学校旧講堂については、学校施設として活用することを前提としており、児童が安全かつ安心して学習できる環境の整備につながる。(教育-18)

(3) 事業評価結果一覧表(網掛けは重点事業)

評価対象事業名		決算値(千円)		職員数(人)		法定受託事務	今後の方向性	
整理番号	事業名	令和元年度(2019年度)	平成30年度(2018年度)	令和元年度(2019年度)	平成30年度(2018年度)		事業内容	予算規模
教育-18	小学校施設整備事業	605,267	767,108	2.0	1.9	無	b	B
教育-19	中学校施設整備事業	376,128	502,843	1.5	1.4	無	b	B

(4) 主な実施内容

【主な実施内容】
①七里ガ浜小学校外5校の冷暖房設備設置工事及びび工事管理委託を実施した。(教育-18)
②小学校5校、中学校3校のトイレ改修を行った。(教育-18、19)
④トイレ改修工事及び冷暖房設置工事の実施に合わせて、LED照明器具、節水型衛生器具、人感センサーによる自動水栓及び自動点灯照明を導入し、省エネルギー化に努めた。(教育-18、19)
⑤御成小学校旧講堂改修工事設計業務委託を実施した。(教育-18)
【実施できなかった事業とその理由等】
③学校施設整備計画は、総合的な視点からの検討・調整に時間を要したため、令和元年度(2019年度)中の策定ができなかった。令和2年(2020年)9月を目途に策定する。(教育-18、19)
⑤御成小学校旧講堂改修工事及びび工事管理委託について、一般競争入札及び随意契約協議を実施したが契約に至らなかったため、継続費の全額を翌年度へ逐次繰越した。(教育-18)

(5) 令和元年度(2019年度)の取組の評価

効率性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか	■ 適切 □ 要改善
妥当性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、妥当(適切)な取組であったか	■ 適切 □ 要改善
有効性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な成果が得られていたか	■ 適切 □ 要改善
公平性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか	■ 適切 □ 要改善
<上記評価の理由、改善を要する点の具体的内容等>		
<ul style="list-style-type: none"> ・トイレの改修については、設計から工事までを一括して委託する新たな手法を採用し、事業の加速化を図ることができたため、効率性及び有効性を適切と評価した。(教育-18、19) ・児童生徒が安心して学習できる環境を整えるため、計画的に施設整備が進められたことから、妥当性を適切と評価した。しかしながら、限られた財源を踏まえつつ学校施設整備を推進するため、最小の経費で最大の効果が得られるよう、事業手法、財源確保策等について検討を行っていく必要があると考えている。(教育-18、19) ・未改修のトイレについて、「トイレ環境改善業務委託」により改修を加速化させることができたため、公平性を適切と評価した。(教育-18、19) 		

3 主な事業における指標(目標ごとに1つ設定)

整理番号	教育-18	事業名	小学校施設整備事業							
指標の内容	普通教室への冷暖房設備設置					単位	校	指標の傾向	↗	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	令和元年度(2019年度)に全16校設置完了。		
計画通り令和元年度(2019年度)までに小学校全16校の普通教室に冷暖房設備を設置する	目標値	-	-	-	4	6	6			
	実績値	-	-	-	4	6	6			
	達成率	-	-	-	100.0%	100.0%	100.0%			
整理番号	教育-18	事業名	小学校施設整備事業							
指標の内容	トイレの改修					単位	系統	指標の傾向	↗	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	令和2年度(2020年度)までにすべての改修を完了する。令和2年度(2020年度)は、前年度からの繰越した1系統を含む5系統の改修を行う。		
5校9系統のトイレが未改修(平成30年度(2018年度)末時点)だが、令和2年度(2020年度)までに全て改修を行う	目標値	1	-	1	2	1	5			
	実績値	1	-	1	2	1	4			
	達成率	100.0%	-	100.0%	100.0%	100.0%	80.0%			
整理番号	教育-19	事業名	中学校施設整備事業							
指標の内容	トイレの改修					単位	系統	指標の傾向	↗	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	令和2年度(2020年度)までにすべての改修を完了する。令和2年度(2020年度)は、前年度からの繰越した1系統を含む5系統の改修を行う。		
5校9系統のトイレが未改修(平成30年度(2018年度)末時点)だが、令和2年度(2020年度)までに全て改修を行う	目標値	1	-	-	-	1	5			
	実績値	1	-	-	-	1	4			
	達成率	100.0%	-	-	-	100.0%	80.0%			